

山陰中央新報社 × 新日本海新聞社 共同企画



伝承と革新の融合

50年間、時代を駆けた

山陰の象徴“新生”

1972



2024

50年前、初代181系からはじまり、
電化をおこない40年前に381系へ。

この50年間、多くの思い出を刻んだ
「特急やくも」はその想いを273系へ継承し、
40年ぶりのフルモデルチェンジを遂げた。

地域の自然、文化、歴史を尊ぶ車体デザイン。
家のような温もりを提供する車内。

最先端の技術を用いて実現した快適性。

確かな進化を遂げた、新たな姿で。
山陰の大地を駆け、地域の人々の想いと共に、
新たな時代への架け橋となる。

特急やくもに乗って、新たな思い出作りと、
山陰の魅力を再発見する旅に出よう。

やくも
YAKUMO LIMITED EXPRESS

やくも
YAKUMO LIMITED EXPRESS

NEW MODEL YAKUMO STARTED in 2024.4.6 sat

今日、この日を山陰鉄道新時代の幕開けに

新型やくも始動



Yakumo, the symbol of San'in

Innovative Evolution

革新的進化を遂げて
威風堂々「新型やくも」デビュー

ペールを脱いだ「新型やくも」は、光り輝くブロンズ色。

出雲大社の天井画をモチーフにした「雲」が

山陰らしさを引き立たせ、威風堂々とした外観。

車内は明るく、ゆったりとくつろげる仕様になっている。

ご家族やグループ向けに設けられた、

大きな窓のセミコンパートメントも魅力的だ。

進化は外装、内装にとどまらない。

人々を運ぶ特急電車として、最も大切な安全性と快適性。

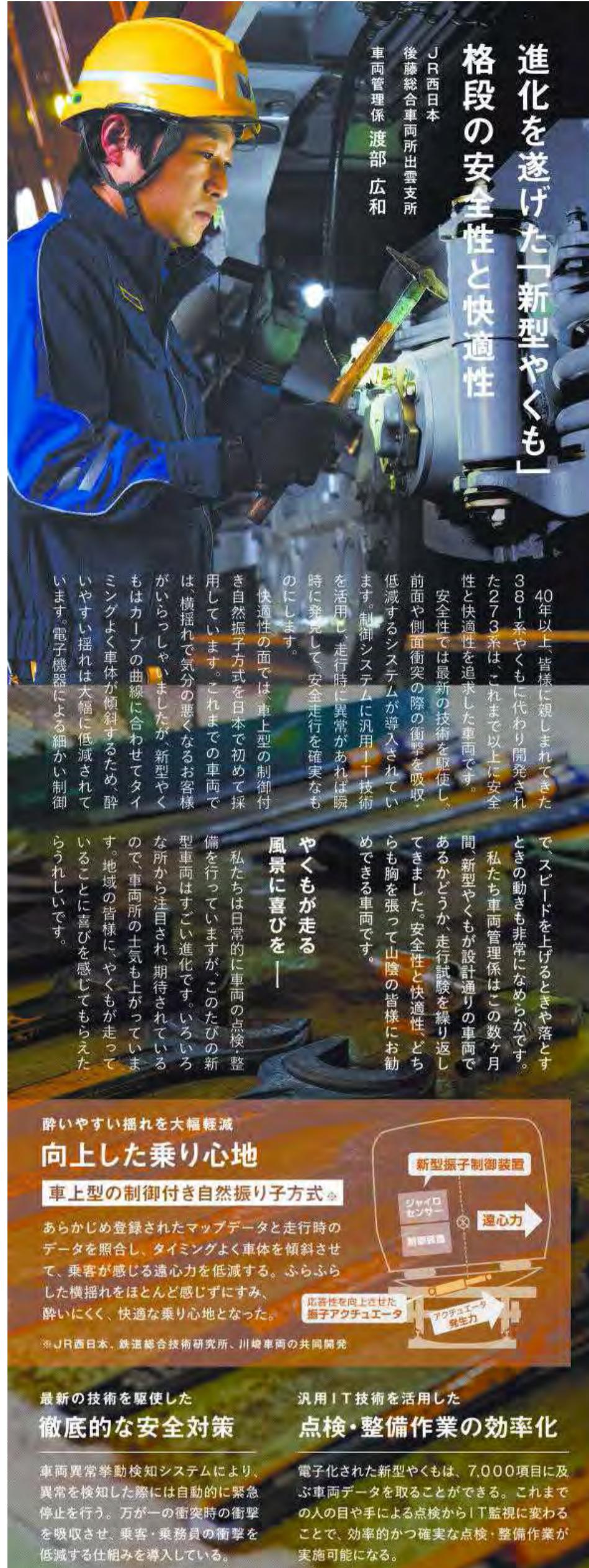
新型やくもは最新の電子機器と技術を駆使し、

革新的な進化を遂げている。

新しいやくもの心躍るデビューは、

山陰の旅と風景を一新する。





愛されてきた「やくも」をより快適に

やくも号は半世紀の長きにわたり、山陰の皆様に愛されてきた車両です。新型に替わるのを機に、より豊かで愛される空間を作りたいと考え、関連会社や家族を含むJR西日本の皆さんとワークショップを重ねました。そこで出たのが「寝ているお客様が多い」「横揺れがつらい」「子どもがぐずったときの逃げ場がない」といった声でした。そうした声をもとに、デザインコンセプトを「乗ったら山陰という安心感のある空間」に定めました。セミコンパートメントは、靴を脱いで座敷のようにくつろげるスペースです。車内は間接照明を使い、上部に明色、床に暗色を配したことで、これままでより広く感じてもらえるはずです。家族や友人同士での飲食、パソコンでの作業や読書、沿線風景を楽しむなど、ゆったりとした空間の中で思いの時間を過ごしていただけます。

山陰を象徴するボディーカラー

ワーキングショップでは、これまでのやくものイメージを変えたいという声が多く、ボディーカラーはメタリックのブロンズ色に決まりました。宍道湖の夕陽、たら鉄製の炎大山山開きのたいまつ行列石州瓦といった、山陰の自然や歴史文化を象徴する色です。鉄道車両は風景になじむとともに、風景を作っていくものもあると思います。新型やくもが山陰のシンボルとなり、沿線の皆様との新しい関係が築かれるよう願っています。

NEW YAKUMO DESIGNER

» BODY COLOR

山陰の自然や文化から生まれた、風景に映える「やくもブロンズ」

沿線の自然・景観・文化・歴史を慕び、お客様と交感する色

新型「273系特急やくも」デザイナー

株式会社イチバンセン 代表取締役
建築家/デザイナー

川西 康之 Yasuyuki Kawanishi

10代から水戸岡鋲治氏の影響を受けデザイナーの道を志す。千葉大学工学部卒業後、渡欧、デンマーク王立芸術アカデミー建築学科を修了。日本に帰国後の2014年、株式会社イチバンセン設立。主な作品は「土佐くろしお鉄道中村駅リノベーション」「WEST EXPRESS 銀河」「えちごトキめきリゾート雪月花」など。

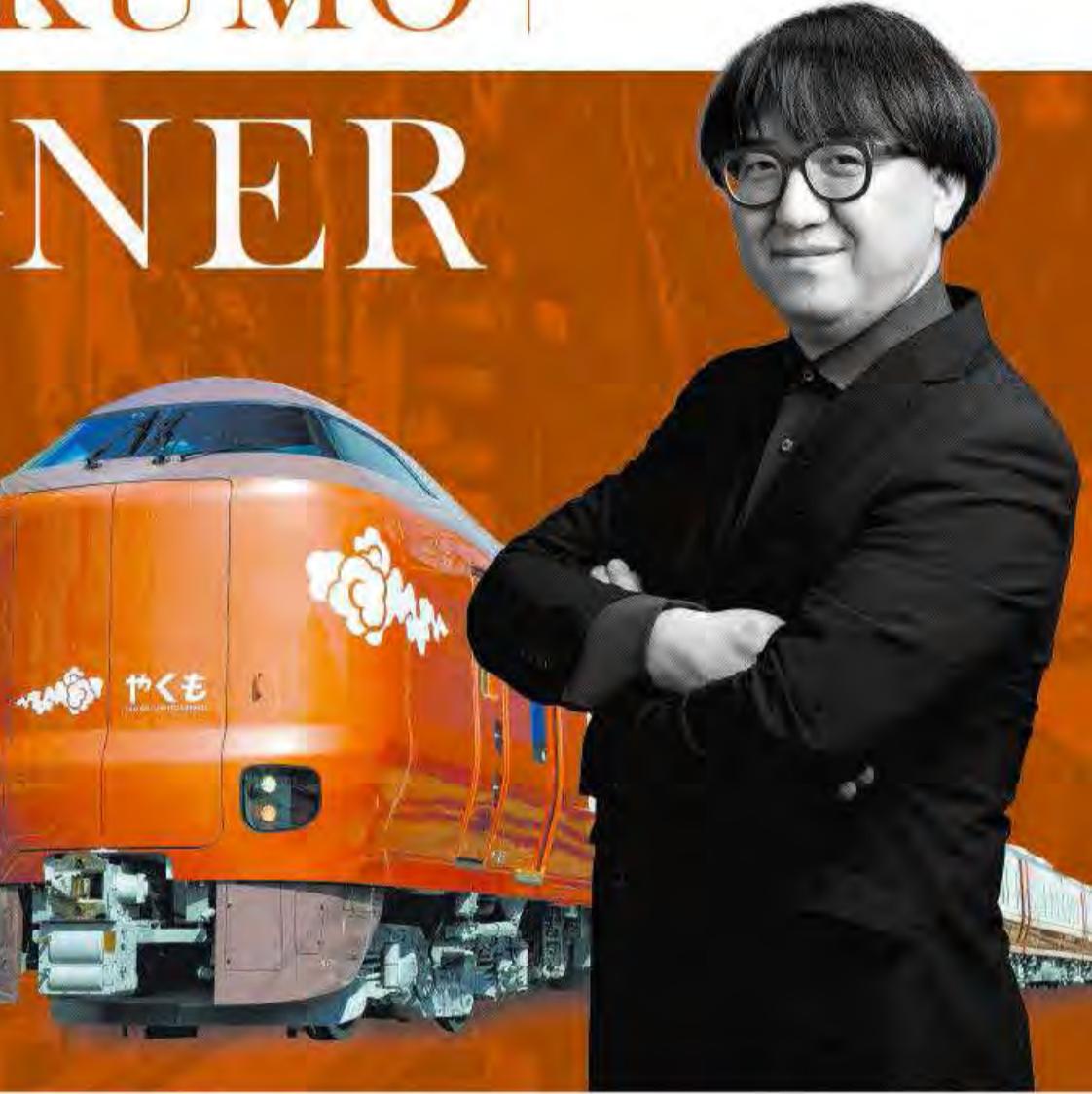


「新型やくも」などについて詳しくは

JRおでかけネット

検索

右記の二次元コードからアクセスいただけます▶



山陰をイメージした配色 我が家のような安らぎ空間

普通席のシートは風景になじむ緑と青。廻りの意味が込められた麻の葉柄が織り込まれており、座面を黒くしたことで車内が広く感じられる。グリーン車の黄と赤のシートは富と長寿をイメージした横石亀甲柄。どちらの柄も立体感があり、我が家のようにくつろげる、温もりのある車内を演出している。



セミコンパートメント

1号車に設けられるセミコンパートメントは、4人掛けと2人掛けがある。座面をスライドさせて座敷のように使うこともできるので、小さなお子様のいる家族や高齢の方も、安心して快適に過ごすことができる。普通席料金で利用できるのもうれしい。「ご家族やグループで特別な時間と空間を」とデザイナーの川西さんは呼びかけている。



やくも号

思い出エッセイ募集

新型やくも運行開始記念特別企画

応募規定

- 字数: 400字以内
- ※作品タイトルは文字数には含まれません。
- 書式: A4サイズのワープロ書き、原稿用紙など
- ※原稿用紙の場合は縦書き。
それ以外は縦書き・横書きどちらでも可。
- 作品タイトル ■氏名(ふりがな) ■年齢
- 性別 ■住所 ■電話番号 ■職業
- 作品に関連した写真(プリント)任意
- ※必須ではありません。※サイズの規定はありません。
- ※データでの応募は受け付けておりません。
- ※写真の有無で審査の優劣が変わることはございません。

発表

山陰中央新報・新日本海新聞の紙面で発表

お問い合わせ

0859-32-8056 (受付) 10:00~16:00 ※土日祝を除く

(西日本旅客鉄道株式会社 山陰営業部)

【主催】西日本旅客鉄道株式会社 山陰営業部

【協力】山陰中央新報社／新日本海新聞社／今井印刷株式会社



2024年8月下旬

山陰中央新報・新日本海新聞の紙面で発表

お問い合わせ

0859-32-8056 (受付) 10:00~16:00 ※土日祝を除く

(西日本旅客鉄道株式会社 山陰営業部)

【主催】西日本旅客鉄道株式会社 山陰営業部

【協力】山陰中央新報社／新日本海新聞社／今井印刷株式会社

右記の必要事項を記入のうえ、応募先まで封書にて郵送してください。

応募先 「一人ひとりのやくも号」思い出エッセイコンテスト事務局宛

【宛先】〒683-0103 鳥取県米子市富益町8(今井印刷株式会社内)

応募締切 2024年6月末(当日消印有効) お一人様3点まで応募可

最優秀
(1作品)
日本旅行ギフト券
¥50,000分

優秀賞
(3作品)
日本旅行ギフト券
¥10,000分

入選
(5作品)
「やくも号とふしぎなたび」
歴代「特急やくも」が勢揃いするふしぎな旅!

